



1月10日、打ち合わせのため松川第一急仮設住宅の集会所に集まっていた皆さん

仲間とともに
その10
いい
いたて
カー
ネー
ションの会
まで
い
着
な
ど
を
縫
っ
て
い
ま
す

避難直後の松川第一急仮設住宅で、お年寄りに生きがいと「までい着」作りを始めたのがこの会の出発点。支援者の助言から販売もするようになり、現在では他の仮設住宅や借り上げ住宅の人も加わって思い思いの作品を作っています。

代表の佐野ハツノさん(前田・八和木)は立ち上げから会を支えています。「製作にかかる手間や材料費で収支はトントン。仲間の元気と本気が支えです。帰村して村でできるまで続けたい。今はそれが目標ね」と話していました。

活動データ

- 全国から寄せられた着物の古着を使い、「までい着」や布バッグ、洋服、小物などを製作しています
- 製品は、羽田空港の売店とNPOが運営する京都市の店舗に置かれています。デパートのイベントなどで販売されることもあります

表紙 平成26年度飯館村成人式
すがすがしい表情で式に臨む新成人たちです。
P.12・13・24の記事もご覧ください。



沢田知可子さんと

20歳の「再会」



「思い出にふけり、いい時間を過ごしました」という新成人たち。3年1組の教室で



ミニコンサート
「二十歳になった皆に会いたい」

今年の新成人は、中学3年生当時、中学生が自ら企画して行う「やったね! 事業」で、歌手の沢田知可子さんを招きコンサートを開いた学年です。コンサートの2年後に被災。避難間近の中学校に駆けつけた沢田さんと卒業生たちは、「成人式にまた会いましょう」と約束を交わしていました。

その成人式の当日、沢田さんは新成人9人と村内の校舎を訪問。式の後にはミニコンサートも開いて、歌とエールを贈りました。「やったね! 事業」の委員長を務めた高木枝里さん(大倉)は、約束が果たされたことについて「人生の節目や転換期に沢田さんにお会いしてきました。皆に会えて当時を思い出し、みんなと話をしました」と話していました。



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。